

2018年度第27回空気シンポジウム 超高齢社会から考える 高齢者施設・住宅

— 建築環境工学からのアプローチ

2018年

9月3日月

13:00~17:40

会場 | 東北文化学園大学
1号館1階階段教室1
宮城県仙台市青葉区国見6-45-1
JR仙山線国見駅徒歩1分

定員 | 150名

2007年以降、我が国は超高齢社会に突入し、高齢化率が26%と世界一の高齢者大国となっている。今後、更なる要介護者の増加が見込まれ、高齢者のための施設、住宅の需要も急増するものと考えられる。

一方、高齢者施設における環境衛生を担保する法整備は不十分なところもあり、施設内での室内環境の実態や改善対策についても把握すべき課題がある。

そこで本シンポジウムにおいて、主として入所型高齢者施設（特別養護老人ホーム）、高齢者の住宅を取り上げ、空気温熱・衛生環境の現状とそのあり方について講演者より話題提供をいただくと共に、超高齢社会を考える上で空気環境分野が取り組むべき課題を抽出し、意見交換の場となることを期待したい。

プログラム

開会の挨拶
主旨説明

柳 宇（空気環境運営委員会主査 工学院大学）
野崎 淳夫（室内空気質小委員会主査 東北文化学園大学）

[1] 基調講演：高齢者施設・住宅の過去・現在・未来

我が国における社会福祉制度と施設の変遷
高齢者の室内環境のあり方

阪東美智子（国立保健医療科学院）
都築 和代（豊橋科学技術大学）

[2] 第1部：高齢者施設・住宅の室内環境の実態

高齢者施設の空気環境
高齢者施設の臭気問題
高齢者住宅の温熱環境

金 勲（国立保健医療科学院）
光田 恵（大同大学）
飯野由香利（新潟大学）

[3] 第2部：高齢者施設的环境設計

高齢者施設の設計の基本
高齢者施設の感染症事例とその対策
高齢者施設における空調設備

湯澤 秀樹（(株)日建設計総合研究所）
齋藤 政浩（仙台市太白区保健福祉センター）
村上 栄造（(株)朝日工業社）

[4] 総合討論

パネルディスカッション
閉会の挨拶

持田 灯（東北大学）

（講演題目については、変更となることがあります）

参加費

会員：4,000円／会員外：6,000円／学生：2,000円
※資料代を含みます。当日会場でお支払い下さい。
（資料のみ：1,000円）

主催：日本建築学会
環境工学本委員会 空気環境運営委員会
担当：室内空気質小委員会
（主査：野崎淳夫、幹事：鍵直樹）

申込方法

①氏名、②所属、③メールアドレス、④電話番号、⑤会員種別（建築学会・会員／非会員／学生）
⑥建築学会・会員の場合は会員番号、⑦交流会の参加・不参加
をメール本文に記載し、airsympo27@gmail.comにお送り下さい。

※定員を超えた場合には、ご返信させていただきます。

<http://news-sv.aij.or.jp/kankyos7/sympo27.html>

申込締切：2018年8月10日（金）